



## 2020年 開催予定

第四夜 1月16日  
《ひとつだけの活字 前編》

第五夜 2月20日  
《ひとつだけの活字 後編》 ← 1巻了

第六夜 3月19日  
《ちようちようの朗読会》

第七夜 4月16日  
《スピノフ 車のいろは空のいろ》

第八夜 5月21日  
《あわゆきのあと》

第九夜 6月18日  
《海からの手紙》

第十夜 7月16日  
《我らの西部劇 前編》

第十一夜 8月20日  
《我らの西部劇 後編》 ← 2巻了

第十二夜 9月17日  
《チケツと昆布巻》

第十三夜 10月15日  
《カナコノ歌》

第十四夜 11月19日  
《庭のアルバム》

第十五夜 12月17日  
《川の合流する場所へ 前編》

# 朗読会

【活版印刷三日月堂】を読む夜

月に一度、第三木曜日 19時から行う朗読会  
どなたでも参加自由 / 参加費は投げ銭スタイル  
聞き手・読み手 今日あなたはどちらをご希望ですか？

開催地  
徳島市新浜町3丁目2-67  
長谷川印刷所のとなり

活版と紙雑貨の店 aMihSuKoT

☎090-1325-9901 高瀬まで

「活版印刷三日月堂」は  
ほしおさなえ著による活版印刷の若き女性職人と  
その周囲の人たちとの活版を通じた交流を書いた小説です

読み手グループ 1/300 という名前は三日月の光度が  
満月の300分の1という所に由来して命名されました

活版印刷三日月堂は一話完結型短編小説となっており  
「活版印刷三日月堂」を読む夜は毎月第3木曜の夜7時から  
毎夜一話（稀に半話）ごとに読み進めていくスタイルの  
読み手になってもよし、聞き手になってもよしの  
素人歓迎 誰でも参加型 朗読会です

活版印刷のできるお店 aMihSuKoT での道具やインクの匂いに包まれて  
まるで作中にいるかのような雰囲気朗読会を楽しんでいただけます

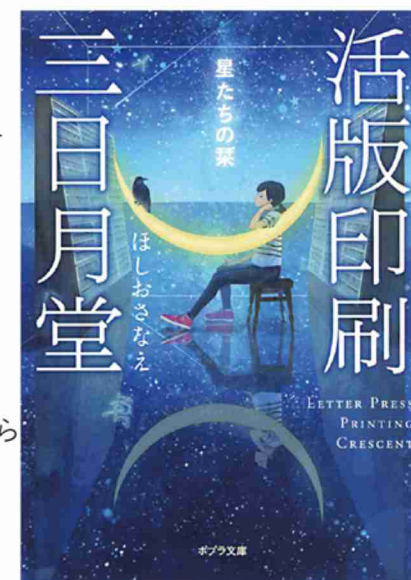
活版 × 紙雑貨の店 aMihSuKoT では 著者であるほしおさなえ先生の許可を頂き  
朗読会を開催しています

主催者の高瀬祥代さんは徳島市在住の朗読家。  
大阪芸大放送学科を卒業し、近畿を中心に活動中  
個人に対する話し方教室なども行っています

aMihSuKoT について

この店は活版印刷の体験できる体験型雑貨屋として  
2019年8月1日にオープンしました。

約10畳のショップ部分と約16畳のワークスペースでは  
商品販売や活版印刷体験はもちろん、来春からは  
様々な造り手による販売・体験イベントや  
定期教室などの開催も予定しています。 講師募集中。



@aMihSuKoT



「第21回徳島県民文化祭 特別協賛事業」

